CHALLENGE & CREATE

KURODA

BUSINESS REPORT 2024

第80期株主通信

2023年4月1日 >>> 2024年3月31日

黒田精工株式会社

証券コード：7726

株主の皆様へ

代表取締役社長

黒田 浩史

ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社ホームページに決算の内容や会社現況を説明した動画を昨年に引き続き掲載いたします。本通信と合わせてそちらをご覧頂き、当社の現状につきご理解を深めて頂ければ幸いです。

ここに当社第80期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

2024年6月

当期の概要

当連結会計年度において、当社グループは半導体・液晶関連装置の市況低迷の長期化により駆動システム商品の受注が減少しました。金型システム事業については、電動車駆動モーター用金型の受注が堅調であった一方、プレス製品の大口販売先の販売不振の影響を受けました。機工・計測システム事業についても工作機械や減速機市場の低迷などから低水準の受注に終わりました。

以上の結果、受注高は17,264百万円（前年同期比4,693百万円、21.4％減）となりました。売上高については、受注残の消化に努めたものの18,504百万円（前年同期比4,242百万円、18.7％減）と受注減少の影響を受け減少しました。

利益面に関しては、売上高の減少に加え、ドイツ現地法人の業績低迷の影響を大きく受けた一方、金型事業の収益改善が進み利益率が増加しました。これらの結果、連結営業利益は583百万円（前年同期比701百万円、54.6％減）となりました。経常利益は営業外収益として為替差益204百万円もあり844百万円（前年同期比688百万円、44.9％減）となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、498百万円（前年同期比408百万円、45.0％減）となりました。当社の連結子会社であるKURODA JENA TEC HOLDINGS LTD（英国、以下「KJTH社」）の子会社であるJenaer Gewindetechnik GmbH（ドイツ）においては、コロナ禍下での工場移転とその後の生産立上げ遅れの影響により業績が悪化していたことから、KJTH社買収時に計上したのれんの将来の回収可能性を再検証した結果、同社に係るのれんを全額減損処理することとし、特別損失として721百万円を計上しました。その一方、当該事象に関連して繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額（益）726百万円を計上しました。親会社株主に帰属する当期純利益にはこれらの内容が含まれています。

配当については、当初予想どおり1株当たり35円とさせて頂きます。

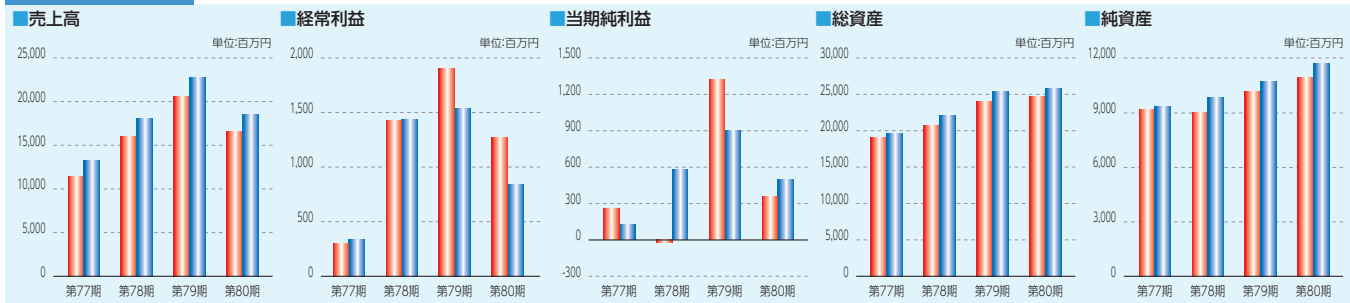
来期の見通し

電動車駆動モーター用金型の好調な受注が継続し、これに対応して金型の増産を進めていることに加え、半導体市場向けを中心に駆動システム商品の受注が2024年度後半には回復が見込まれることから、次期の連結業績につきましては、売上高20,000百万円、営業利益1,100百万円、経常利益1,050百万円、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円を見込んでおります。

次期の年間配当につきましては、上記の収益見通しを勘案し、1株当たり38円と3円の増配を予定しております。株主の皆様には何卒ご理解と変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

決算ハイライト

通期:単体 連結



セグメント情報

駆動システム　売上高 6,711百万円

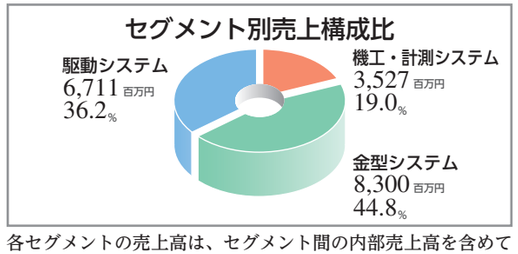
当セグメントでは、半導体・液晶関連装置市場向けを中心に受注が減少し、受注高は5,650百万円（前年同期比1,624百万円、22.3％減）に留まりました。売上高についても受注減少の影響を受け6,711百万円（前年同期比2,254百万円、25.1％減）となりました。収益面では、黒田精工単体としては営業利益を確保したものの、ドイツ現地法人の業績低迷の影響を大きく受けて、営業損失91百万円（前年同期は営業利益1,030百万円）となりました。

金型システム　売上高 8,300百万円

当セグメントでは、車載用モーターコアの主要ユーザーの生産調整により受注高は8,178百万円（前年同期比2,466百万円、23.2％減）となりました。売上高は、車載用モーターコア金型の売上が増加したものの、モーターコア製品の売上減少により8,300百万円（前年同期比1,498百万円、15.3％減）となりました。利益面においては、金型の増収や、利益率の改善努力、品種構成差等が寄与して利益率が大幅に改善し、営業利益は765百万円（前年同期比398百万円、108.7％増）と増益となりました。

機工・計測システム　売上高 3,527百万円

当セグメントでは、工作機械市場全体の低迷と、精密減速機の在庫調整等の影響を受けて、受注高は3,434百万円（前年同期比620百万円、15.3％減）となりました。受注残の消化に努めましたが、売上高は3,527百万円（前年同期比471百万円、11.8％減）となりました。収益面では、経費抑制の効果により単体では黒字転換を果たしましたが、子会社である株式会社ゲージングの業績悪化があり、前期より縮小したものの営業損失54百万円（前年同期は営業損失81百万円）と損失が残る結果となりました。



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

トピックス

モーターコア生産体制の増強

当社長野工場に建設していた新工場棟（第8工場）および倉庫棟が完成し、2023年12月に竣工式を執り行いました。この新工場棟においては、電動自動車の駆動用・発電用モーターコアの量産およびモーターコアに磁石を挿入し樹脂により固着する工程（MAGPREX®）を実施します。300トン大型高速プレスとMAGPREX®ラインを設置し、現在需要が急拡大している電動自動車用高効率モーターコアの量産プロセス確立のためのマザー工場となります。新工場で生産されたモーターコアをお客様にお届けするとともに、ここで確立したプロセスを国内外の提携先を含めたモーターコア量産工場に展開し、グローバルな生産体制の拡充につなげます。また、長野工場においては、この新工場棟の完成に合わせて現在レイアウトの大幅見直しや加工機械の増強等を進めており、今後は更なる大型高速プレスの増設も検討しています。一連の設備投資により、電気自動車駆動用モーターコア金型の生産能力は来年までに2023年対比で2.5倍とする計画です。

長野工場新工場棟竣工式

IATF16949認証取得

2023年12月、当社金型事業部（長野工場）において、車載用モーターコアの製造に係る「IATF16949：自動車産業品質マネジメントシステム規格」の認証登録をIATF（International Automotive Task Force）より取得しました。IATF16949とは、自動車の製造領域に特化した品質マネジメントシステムで、主要自動車メーカーおよび関連団体によって構成されるIATFが第三者審理機関を通じ、自動車の部品や材料を供給するサプライヤーを審査・登録するグローバルな認証制度です。海外の自動車メーカーは当該認証を得たサプライヤーから部材を調達することが通例となっており、この認証取得をきっかけに当社のモーターコア事業のグローバル展開を今後さらに加速していきます。

IATF16949認定書

カーボンニュートラル達成に向けた取り組み

当社は2050年までのカーボンニュートラル達成の実現に向け取り組んでおり、その一環として2020年にかずさアカデミア工場に、2023年に富津工場に太陽光パネルを設置しましたが、このたび長野工場においても太陽光パネルの設置が完了しました。これにより長野工場全体の消費電力の約10%を賄うことができる予定です。さらにドイツの子会社であるJenaer Gewindetechnik GmbHにおいても太陽光パネルの設置が完了しました。当社グループは地球温暖化対策に貢献するために、再生エネルギー利用拡大に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

太陽光パネルを設置した長野工場

新任独立社外取締役の紹介

水品朱美氏

6月27日に開催されました当社第80期定時株主総会において、水品朱美氏が社外取締役に選任されました。

水品氏は、東京証券取引所が定める独立性基準を満たしており、当社にとりましては、初めての女性独立社外取締役となります。

同氏は、米国ニューヨーク州、カリフォルニア州、ワシントンD.Cの弁護士資格を有しており、長年にわたり、日本のメーカーおよび大手外資系企業において、法務、リスク管理、コンプライアンス等の業務を経験しています。

これらの経験をもとに、当社グループの経営に対する的確な助言と実効性の高い監督を十分に果たしていただくことができると期待しております。

当社としましては、引き続き、「ジェンダーバランスや多様性の確保」を考慮した人財の登用に取り組んでいくことで、取締役会の更なる実効性の向上を目指してまいります。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2023年3月31日現在	当期 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**14,701**	**13,583**
固定資産	**10,701**	**12,300**
有形固定資産	7,341	8,393
無形固定資産	899	170
投資その他の資産	2,459	3,736
資産合計	**25,402**	**25,884**
負債の部		
流動負債	**9,623**	**8,184**
固定負債	**5,049**	**6,003**
負債合計	**14,672**	**14,187**
純資産の部		
株主資本	**8,490**	**8,782**
資本金	1,920	1,930
資本剰余金	1,525	1,535
利益剰余金	5,053	5,324
自己株式	△9	△9
その他の包括利益累計額	**2,024**	**2,726**
その他有価証券評価差額金	664	1,285
土地再評価差額金	814	814
為替換算調整勘定	534	571
退職給付に係る調整累計額	10	55
非支配株主持分	**214**	**188**
純資産合計	**10,730**	**11,697**
負債・純資産合計	**25,402**	**25,884**

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 2022年4月1日～2023年3月31日	当期 2023年4月1日～2024年3月31日
売上高	22,746	18,504
売上原価	17,310	14,066
売上総利益	5,436	4,437
販売費及び一般管理費	4,151	3,854
営業利益	**1,284**	**583**
営業外収益	455	519
営業外費用	207	258
経常利益	**1,533**	**844**
特別利益	113	54
特別損失	77	780
税金等調整前当期純利益	**1,569**	**118**
法人税、住民税及び事業税	660	318
法人税等調整額	△13	△671
当期純利益	**922**	**471**
非支配株主に帰属する当期純利益	15	△26
親会社株主に帰属する当期純利益	**906**	**498**

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 2022年4月1日～2023年3月31日	当期 2023年4月1日～2024年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,349	427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,429	△1,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,149	214
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	△58
現金及び現金同等物の増減額	1,113	△726
現金及び現金同等物の期首残高	2,846	3,960
現金及び現金同等物の期末残高	3,960	3,233

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前期 2023年3月31日現在	当期 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**12,862**	**11,584**
固定資産	**11,107**	**13,059**
有形固定資産	6,660	7,647
無形固定資産	149	159
投資その他の資産	4,298	5,252
資産合計	**23,969**	**24,644**
負債の部		
流動負債	**9,022**	**7,823**
固定負債	**4,766**	**5,872**
負債合計	**13,789**	**13,695**
純資産の部		
株主資本	**8,701**	**8,848**
資本金	1,920	1,930
資本剰余金	1,497	1,507
利益剰余金	5,292	5,419
自己株式	△9	△9
評価・換算差額等	**1,479**	**2,100**
その他有価証券評価差額金	664	1,285
土地再評価差額金	814	814
純資産合計	**10,180**	**10,948**
負債・純資産合計	**23,969**	**24,644**

（注）記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

（単位：百万円）

科目	前期 2022年4月1日～2023年3月31日	当期 2023年4月1日～2024年3月31日
売上高	20,529	16,538
売上原価	15,986	12,823
売上総利益	4,542	3,714
販売費及び一般管理費	2,924	2,737
営業利益	**1,617**	**977**
営業外収益	440	509
営業外費用	154	217
経常利益	**1,903**	**1,269**
特別利益	96	50
特別損失	77	1,401
税引前当期純利益	**1,922**	**△81**
法人税、住民税及び事業税	590	282
法人税等調整額	7	△718
当期純利益	**1,324**	**354**

（注）記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

会社の概況／株主メモ

会社の概要
（2024年3月31日現在）

商号	黒田精工株式会社
本店	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創業	1925年（大正14年）
資本金	19億30百万円
従業員数	433名

連結対象会社の状況 （2024年3月31日現在）

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダインターナショナル株式会社 クロダプレジションインダストリーズ(M)（マレーシア） 平湖黒田精工有限公司（中国） 韓国黒田精工株式会社 KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD.（英国） Jenaer Gewindetechnik GmbH（ドイツ） KURODA JENA TEC, INC.（米国） 株式会社ゲージング	日本金型産業株式会社 紅忠黒田ラミネーション株式会社

当社グループの主要な事業 （2024年3月31日現在）

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日 定期株主総会・期末配当
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 https://www.kuroda-precision.co.jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間　9:00～17:00 （土日休日を除く）

株式に関するお手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL. 0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間　9:00～17:00（土日休日を除く）
支払期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問合せ	
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 0120-782-031（フリーダイヤル）
受付時間　9:00～17:00（土日休日を除く）

［手続き書類のご請求方法］
・インターネットによるダウンロード　https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

黒田精工株式会社
本社／〒212－8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
TEL／044－555－3800（代表）　FAX／044－555－3524
https://www.kuroda-precision.co.jp/

UD FONT
FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK